

# 俺がついている!

取材協力●八田修孝(TENNIS FACTORY オーナー)



前回紹介した「ウイニング」の続編があります

その「ウイニング・アグリ2」のサブタイトルが『俺がついている』なのでございます

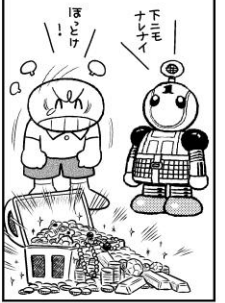
この本はBギルバートのコーチング術について詳しく語られております



人の一生で「財を残すは下」「名を残すは中」「人を残すは上」なんてことを申しますな

ことほどさように「育成」というのは重要でありしかも容易ではないワケです

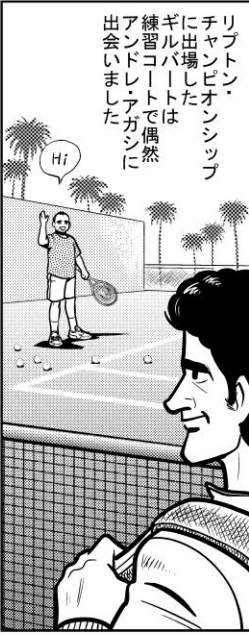
ギルバートのコーチ人生はこんな出会いから始まりました



## コーチへの道

1994年3月  
フロリダ

リアントン・チャンピオンシップに出場したギルバートは練習コートで偶然アンドレ・アガシに出会いました



年齢は10歳近く離れた友人同士だったが2人は仲良かった



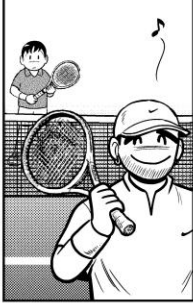
その夜、食事を共にし、テニス談義に花を咲かせます

その頃のアンドレは手首の手術から復帰するところでした。ランキングは30位と低迷しており

自分のテニスに方向性について山ほど質問を浴びてきたのだ



ギルバートはアガシが相手の弱点について必要な注意を払っていきなかつたことが気になっていました



「ピルを飲みながら彼ばこ言います」

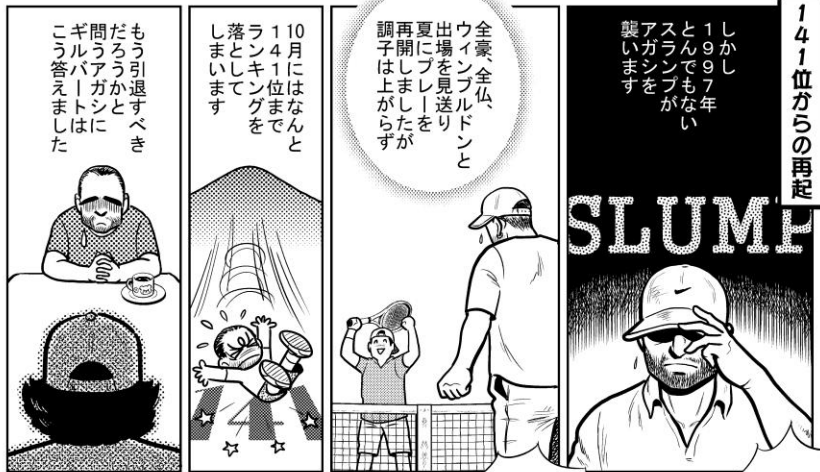


明日の朝11時に練習コートで会おう

期間も限定せず契約書もなしでただ2人は握手を交わしました

テニスコーチブラッド・ギルバートの誕生であります





もう引退すべき  
だらうかと  
問うアガシに  
ギルバートは  
こう答えました

10月にはなんと  
141位まで  
ランキングを  
落として  
しまいます

全豪全仏、  
ウィンブルドンと  
出場を見送り  
夏にプーレーを  
再開しましたが  
調子は上がりず

141位からの再起  
しかし  
1997年  
とんでもない  
スランプが  
アガシを  
襲います

# SLUMP



そして  
プロの試合に  
耐えようと  
判断できたら  
下のランクの  
ツアーナメント  
つまり  
シヤレンジャー  
シリーズから  
復帰することを  
提案します

ギルバートは  
まず今年の試合を  
すべて諦め  
ラスベガスに帰って  
徹底的に  
トレーニングを  
やり直し……

君のランキングが  
141位になった  
理由は1つしかない  
情熱を失って  
いるからだ！



練習して試合して  
戦略を練ることに  
没頭できれば  
もう一度トップに  
返り咲くことだって  
できる!!



あるトーナメントで  
ギルバートが  
若気の至りで  
ボランテイアに  
横柄な態度を  
とったところ

彼は  
ヤンチャ坊主  
なんちゃあか  
思われてる  
人多いんじや  
ないでせうか

アガシのダメ出し  
ところが  
若い頃の  
アガシは  
フアンキーで  
パンクな  
だったの  
で

—こんな話があります



こうしてお互いに教えたり  
教えられたりできる  
良きパートナーとなった  
2人の努力は報われ  
この年アガシは  
5つのタイトルを獲得し  
ランキングを30位から2位に  
まで上げたのです

尊敬を持って  
人に接すれば  
自分も  
尊敬される  
人を見下す  
人間の  
心の底から  
軽蔑される

アガシは  
彼に言いました  
ボールを頼むなら  
『お願いします』  
とか『ありがどう』と  
言っつてほしい



この教訓を  
ギルバートは  
本来なら  
教えるべき  
立場の人間に  
教えられたので  
ありました

ここにるのは  
アコトレ・アガシの  
コーチ・ギルバートだ  
その失礼な態度が  
僕と一緒にされるのは  
嫌なんだ!

# 反省

テニスクラシックBreak誌掲載(日本文化出版)  
まんが:いしかわせいぢゅん

肩痛との闘い

このマイナーリーグ作戦は功を奏し、1998年末にはアガシはランキングを6位まで上昇させます



ところが、好事魔多し……

99年4月、香港でボリス・ベツカーと対戦した際、雨による中断が繰り返されたことで、身体に負担がかかり、勝利したものの完全に肩を痛めてしまったのです



サーブも打てなくなってしまうアガシは……

5月に迫る全仏オープンとギルバートに申し出ますが……



アンドレは29歳……、そう何度も残されてはいない



出場しなければ勝つことはない、どうなるか分からない



このギルバートの信念とアガシの強靱な体力、そして適切な治療が奇跡をもたらしたのでしょか……



おおよそ1週間という短期間の施術により、アガシの肩はほぼ復調したのです



こう考えたアガシは、友人のカイロプラクター、レニー・スタインのもとに連れていき、治療を受けさせました

99年全仏オープン

よみがえったアガシは1回戦スキラー、2回戦クレモン、3回戦でウッドルフを倒し……

4回戦で前年優勝のカルロス・モヤを破ります



もちろん簡単なのちやなくて、わたるビリンチでの勝利でしたが……

着実に試合カンを取り戻していったアガシは……



決勝の相手は、世界ランク4位、3回戦で破った強豪、アンドレ・パエテ



昇り竜のような勢いを持ったメドベデフは、わずか40分で2セットを先取し、アガシは最大のピンチを迎えます！

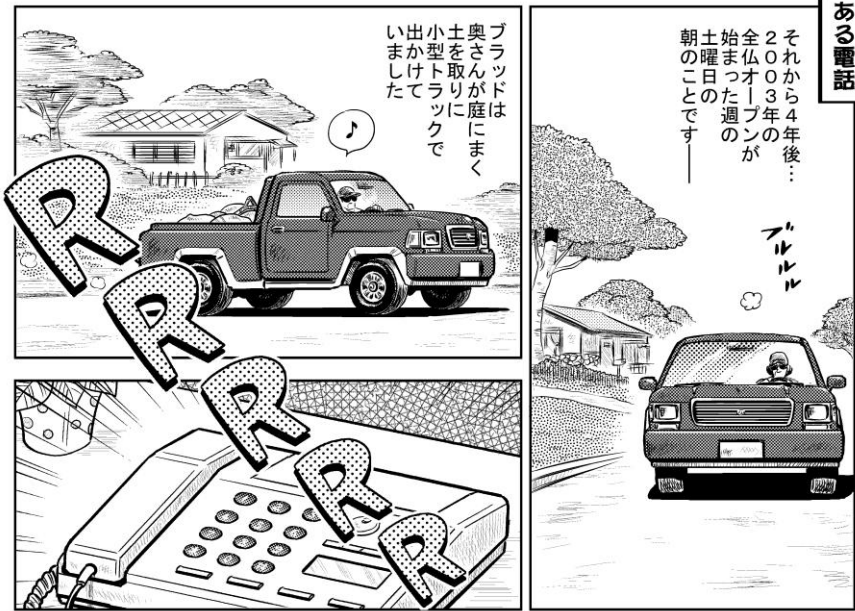
しかし、第3セット、1ゲームオールとなったところで、雨で試合中断という、勝利の女神からの与えられたのです

ギルバートは、ロールバックという言い方、負けると攻撃し続ける、負けるなら、自分らしいショットを打つてないじゃ、ないか



さあ、自分のプレーを、くくるんだ！





ある電話

それから4年後…  
2003年の  
全仏オープンが  
始まった週の  
土曜日の  
朝のことです

